

## 研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。  
使用するデータには個人を判別する情報が含まれないため対象者の方の除外はできません。

研究課題名	高齢者脆弱皮膚モデル教材の教育効果の評価
研究機関名	金沢医科大学 学長 宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学看護学部 基礎看護学 宮永葵子
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2024 年 3月
対象者	2022年度 金沢医科大学看護学部4年生で選択科目「皮膚科学看護論」を選択した学生
当該研究の意義・目的	<p>高齢者は皮膚が薄く、外力に弱いため、わずかな摩擦やずれで皮膚裂傷を起こすことがあります。このような裂傷をスキン-テアといい、近年問題視されています。キン-テアは、強い疼痛を伴い、患者とその家族のウェルビーイングを脅かすだけでなく、医療従事者や介護者の不適なケア行為により受傷したのではないかと、家族が不信感を抱くケースもある。スキン-テアの予防やケアに関する研究が進められていますが、臨床このような患者に遭遇するケースが少なく、学生が学ぶ機会がなかなか得られない現状があります。そこで、実践現場に近い演習が実施できるように高齢者の脆弱皮膚モデル教材を開発しました。</p> <p>本研究では開発した脆弱皮膚モデル教材を授業に使用した効果を明らかにすることを目的としています。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>2022年11月、2023年11月の2回に行われた、金沢医科大学看護学部4年生で選択科目「皮膚科学看護論」を選択した学生を対象とした授業評価アンケートの項目を分析し、教材や授業にどのような印象を持たれたかを評価します。無記名アンケートの為、個人情報に含まれず、また、研究からの除外もできません。</p> <p>研究データは研究発表後10年間保管され、その後、適切な方法で破棄されます。研究の成果は日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌にて発表予定です。この研究では生体試料の取扱いはありません。</p>
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学看護学部 基礎看護学 宮永葵子 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表) 076-218-8410 内線(37706)

作成日： 2023 年 8 月 30 日